

田柄高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科：数学 科目：数学Ⅰ 学年：第3学年 単位数：2単位

教科担当者：佐藤勇

使用教科書：数研出版 「新編 数学Ⅰ」

使用教材：数研出版 「改訂版 クリアー 数学Ⅰ+A」

期間	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	予定 時数
第1 学期 前半	展開 因数分解	次の乗法公式、因数分解の公式が理解でき活用できる。 式の置き換えや一つの文字に着目するなどして、展開・因数分解ができる。	考查、授業態度等を総合的に評価する。	12
第1 学期 後半	実数 根号を含む計算 不等式 集合と論理	自然数、整数、有理数、無理数の包含関係など、実数の構成を理解する。 無理数の加法及び減法、乗法公式などを利用した計算ができる。また、分母だけが二項である無理数の分母の有理化ができる。 集合に関する基本的な用語・記号や集合の包含関係を理解する。ベン図や数直線を活用して、共通部分、和集合、補集合を求めることができる。	考查、授業態度等を総合的に評価する。	14
第2 学期 前半	2次関数とそのグラフ	対称軸（直線 $x=p$ ）や頂点（ p, q ）に着目して2次関数のグラフの特徴を捉えることができ、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形（平方完成）し、2次関数のグラフをかくことができる。	考查、授業態度等を総合的に評価する。	14
第2 学期 後半	2次関数の最大、最小 2次方程式、2次不等式	2次関数のグラフから頂点又は軸を境として、関数の値の増減が変化することを理解し、2次関数の最大や最小を考察できる。 2次関数のグラフと x 軸との共有点の x 座標は2次方程式の解であることを理解し、 x 軸との共有点の x 座標を求めることができる。 2次不等式の解の意味を理解し、2次関数のグラフを活用して解くことができる。	考查、授業態度等を総合的に評価する。	14
第3 学期	四分位数 標準偏差 相関係数	最小値、四分位数、最大値、四分位範囲、四分位偏差、分散、標準偏差等の用語について理解する。 散布図や相関係数の意味を理解する。	考查、授業態度等を総合的に評価する。	8